

神奈川県議会議員 土井りゅうすけ (川崎市多摩区選出)

- ・神奈川県議会議員(4期)
- ・議会運営委員会委員
- ・総務政策常任委員会委員
- ・安全・安心推進特別委員会委員
- ・予算委員会委員



【事務所】

http://www.kinet.or.jp/rdoi/
E-mail rdoi@kinet.or.jp

〒214-0014
川崎市多摩区登戸2663 東洋ビル7F
TEL(044)911-5200・FAX(044)911-0330

かながわ自民党

県議団NEWS



神奈川県議会

発行所
自由民主党神奈川県議会議員団
神奈川県横浜市中区日本大通1
(神奈川県庁新庁舎内)
電話: 045-210-7600
http://www.kanagawajimin.jp/

予算委員会

土井りゅうすけ議員(川崎市・多摩区)が自民党のトップバッターで、予算委員会の質問に立ちました。

団長経験者は、普通トップで質問に立ちませんが、今回は川崎市に関する事でもあり、予算委員会メンバーのご理解を得て、質問に立ちました。

質問項目及び内容は以下の通りです。

一、経済のエンジンを支える方策について
二、新年度予算案に示された県の施策の県民理解について
三、二つの特区について

三番目の質問で、京浜臨海部(川崎区・磯町地区)の国家戦略総合特区の中に県自ら「産業情報センター」としての機能を持つ拠点施設を作ることを黒岩知事が表明しました。

併せて、県立川崎図書館もこの施設に移転を検討していくことを表明しました。

(詳細は新聞記事参照)

なお、県立川崎図書館については、昨年十二月の本会議において、磯町地区の拠点施設の延べ床面積の関係から、図書館の同施設への移転は電子情報のみに限定し、中核機能は「かながわサイエンスパーク(KSP)」へ移転する考えが改めて示されました。



廃止方針撤回の県立川崎図書館 臨海部に移転検討

土地借用期限が迫っている県立川崎図書館

県は緊急財政対策の二環として川崎図書館の廃止方針を昨年11月(川崎市川崎区)に移転した。今年2月に撤回したが一企業支援に注力する機能を高度化ライフインベション・特化して川崎市内に国際戦略総合特区に絡めて、県が「産業情報センター」としての機能を持つ拠点施設をつくることも表明。その新施設に入居する形態を質問に、黒岩知事

神奈川・黒岩知事

「マグカップって何だろう、マグカップかもしれない」

黒岩祐治知事は11日の県議会予算委員会、県から文化芸術を発信する施策「マグカップ事業」の名称の意味を解説し、笑いを誘った。

県施策がマグカップ!?



「あえて難しい言葉を使うこともある」と、自身が掲げる「いのち輝くマグネット神奈川」を例示して、「『分からない』と言われたが、繰り返し言い続けたら、いろんな方が使うようになった」と熱弁を振った。

だが、分からない言葉の方がいいという専門家の意見で決まったという。キヤスター時代を引き合いに、「県民に分かやすい言葉でしゃべるのが信条」と前置き。「あえて難しい言葉を使うこともある」と、自身が掲げる「いのち輝くマグネット神奈川」を例示して、「『分からない』と言われたが、繰り返し言い続けたら、いろんな方が使うようになった」と熱弁を振った。

神奈川新聞

(報道部)

再生可能エネルギーの導入等の促進に関する条例が可決・成立(第二回定例会)

自民党県議団主導の議員提案で上記条例が七月二日の本会議において、全会一致で可決・成立しました。太陽光など再生可能エネルギーの需給調整を行う体系の構築を推進し、経済発展や県民生活の安定を目指します。

現在、神奈川県はこの条例に基づき基本計画の策定を進めています。

東日本大震災に伴う原発事故により全国的にエネルギー政策の見直しが進められる中、原発に過度に依存せず、将来にわたり安定したエネルギー需給の確保を目指して、自民党県議団プロジェクトチーム(古沢時衛座長・土井りゅうすけ事務局長)が主導となって条例化を進めました。



平成25年9月メガソーラー完成式典で古沢県議会議長と共に鏡割り



中小企業による県内初のメガソーラー 出力1,000KW 相模原市緑区牧野

このプロジェクトチームで関係団体との意見交換会やパブリックコメントを実施し、県民意見の反映にも務めました。この条例により、太陽光や風力・水素など永続的に利用できることとされる「再生可能エネルギー」の導入を進めるとともに、経済活動や生活様式を見直し、エネルギー需給の調整が出来る仕組みの構築を目指します。

県に加え事業者や県民の責務も明記し神奈川全体で取り組んでいきます。

この条例は平成二十六年四月一日に施行されます。

生田地区で第三回 地域防災訓練を実施

生田地区で榊形中学校・生田東高校電
元社や近隣自治会の皆様に参加して去る
平成二十五年十月十四日に第三回地域防
災訓練が実施されました。

県立高校と市立中学校共同で行う防災
訓練は、県内でも数少ない事例で神奈川
や川崎市も注目している取り組みです。

土井りゅうすけ県議員から神奈川
の防災対策に対する取り組みについて説明
があった後、川崎市危機管理室の小竹野
明氏から被災地の避難所状況や、多摩地
域に関する災害状況予想についての講演会
と続き、その後起震車体験、火災脱出訓練
やAED操作訓練など様々な訓練が行わ
れました。

参加者の皆様は非常に熱心に取り組ん
でおられました。



AED 操作訓練



土井りゅうすけ県議員挨拶

土井りゅうすけ議員が、第十三回都道府県議会 議員研究交流大会にパネリストとして出席

平成二十五年十月十二日に行われた全国都道府県議会議員会主催による研究交流大
会の第1分科会「議会運営の改革」で神奈川県議会議員としては三人目のパネリストに土
井りゅうすけ議員（川崎市多摩区）が選出され神奈川県議会の議会改革について講演し
ました。

当日は、明治大学政治経済学部の牛山久仁彦教授がコーディネーターを務め、土井議員か
らは近年の議会改革の取り組みを説明した後、取り組み事例として議会報告会の開催方
法や議員提案条例について説明しました。

その後約三十分は質疑応答が熱心に取り交わされました。



第1分科会 議会運営の改革

議会改革への各議会の取組を踏まえ、住民意思をより効果的に反映させるための議会運営の方向について検討
する。

コーディネーター



牛山 久仁彦氏
明治大学政治経済学部教授

パネリスト



土井 りゅうすけ氏
神奈川県議会議員



馬込 彰氏
長崎県議会議員

自由民主党神奈川
県議会議員団所属。
1999年より神奈川
県議会議員（4期目）。
現在、議会運営委員
会委員、総務政策常
任委員会委員。

県政改革県民の会所属。
1995年より長崎県議
会議員（5期目）。2010
年6月より同県議会副議
長（第84代）を務めた。
現在、県議会・県政改革
特別委員会副委員長、前
議会運営委員会委員長。

神奈川県立がんセンター がオープンしました

平成二十五年十一月に二俣川の元神奈川
県運転免許試験場跡地に新病院がオー
ンしました。

地上七階、地下一階建てで駐車場は三百
台、総事業費約三百億円。

設備面では、外来診療室を三十三室か
ら五十六室、外来科学療法室ベッドを二十
四床から五十床、手術室を六室から十二室
にそれぞれ増強し、外来待ち時間の短縮や
手術待ちの患者を減らすことなどが期待
されています。

また、放射線治療装置も二台から四台
に増やし、高性能CT、MRIなども最新
鋭の機器を導入しました。

さらに、新しいがん治療法として注目さ
れている「がんペプチドワクチン療法」の臨
床研究に取り組む、がんワクチンセンターも
設けました。

今後は「重粒子線治療装置」を配備した
施設「IROCK」が平成二十七年十二月
に完成予定です。

この施設は光速並みに加速させた原子
を体内のガン細胞にピンポイントで照射し
て治療するもので、外科手術と違い入院の
必要が無く仕事を続けながらでも通院治
療が受けられるのが特徴です。

抗がん剤治療に比べると副作用も少なく、
最先端の治療法として注目されています。



がんセンター全景

高精度放射線治療装置
（リニアック）

2013年活動写真

総務政策常任委員会



2013.6.9 硫黄島の米海軍空母艦載機離着陸訓練を視察



2013.3.9 向ヶ丘遊園南口に於いて街頭募金活動

50周年記念祝賀会

神奈川県肢体不自由児者父母の会連合会



2013.10.5 神奈川県肢体不自由児者父母の会連合会
結成50周年記念祝賀会で挨拶